

広田っ子

～本物の笑顔が輝く広田小～

佐世保市立広田小学校 学校だより
第11号 令和5年3月15日(水)
文責 井上 文典

「本物の笑顔」に簡単アクセス
広田小HP QRコード



明日は「笑顔堂々」の卒業式です

桜のつぼみもはつきりとふくらみ、春のおとずれをしっかりと感じる事ができるようになりました。

令和4年度も新型コロナウイルスの影響を受けながらの教育活動となりましたが、皆様のご理解とご協力のおかげで年度末を迎えることができます。心から感謝申し上げます。



さて、明日は第76回卒業証書授与式です。マスク無しでの「卒業生入場」は3年ぶりです。別れの言葉や歌の時はマスクを着用しますが、本来の学校の姿への兆しを感じながら挙行できることを大変うれしく思っています。

今年度の6年生は「ひとりじゃないから『あい』がある」の合言葉のもと中学校校舎で、自分自身をしっかりと見つめ、支えあいながら修学旅行や体育大会、そして、5年生のためのワークショップ等、工夫しながら取り組み、成果を上げ、思い出をつくりました。立派な最高学年でした。

今、世の中は激動の時代を迎えています。収束の様子も伝えられるようにはなりましたが、数年続いた感染症の全世界的な拡散、そして、あってはならない戦争と・・・心を痛めています。また、人工知能等、テクノロジーの発達とその影響を身近なところでも感じるようにはなりました。学校も急激な変化へ対応をしながら、子どもたちの人格の形成という普遍的なテーマを追求しています。本校でも「広田ベーシック」を土台として教育活動に取り組んできました。

子どもたちには、心から平和を愛し、人の足を引っ張るのではなく、手を取り合い、支え合いながら生きていってほしいと強く思っています。このことは明日の卒業式でも伝えたいと考えているところです。

間もなく、令和4年度はゴールを迎えます。本校には「本物の笑顔」というキャッチフレーズがあります。このテーマには人々の笑顔を大切にするという意味も込められています。それぞれの学年、学級でもそのことも振り返りながら卒業式、修了式を迎えたいと思います。

心に残る 卒業式総練習

卒業式の総練習では、6年生の姿は本当に見事でした。

中学校校舎で学んだ「自立の姿」を、強く感じました。特に長時間の姿勢の良さは、1年間、中学生の正しいモデルを身近に見て、自分たちの行動の基準を高め、習慣となっていった結果だと考えています。また、歌唱においても一人一人が歌詞の意味を強く感じ、届けたい相手を意識して心を込めて歌っていました。文化発表会の時の力強い合唱を思い出しながら聴き、心に染みしました。

いよいよ明日、「笑顔堂々」の卒業式です。

ご卒業おめでとうございます

